

【22_153技術系メルマガ】そこにラインを引く理由

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

先週末、謎放送にてスケーターさんから「僕が活用している水平線」について話をしてほしいとのありがたいオファーを貰ったので話をさせて貰ったのですが

その内容を受けて質問を送ってくれた方がいたので、今回はそれをテーマとして技術的な話をしていこうと思います。

～～質問引用～～

2番ライン(3番、4番同様に)上限、ブレイク、下限のラインの引き方はわかりました。

でも何故そこにラインを引くのが分かりません。

何か人間の心理みたいなものがあるのでしょうか？良ければ教えてください

～～

読みやすくするために、改行だけ入れさせてもらいましたが

質問内容は原文ママです。

投資家心理のようなものを意識しているのか？といった点が気になるのかなと思うので

そこに対する僕の見解も含めて話をしていきますね。

念のため、僕とガッキーのラインの引き方を解説しているページのURLだけ載せておきますので

もしまだ見ていない方がいたら、時間があるときにチェックしてみてください。

▼公式ページ:ラインの引き方解説一覧▼

https://kuro-gaki.com/begginer_tutorial_jsd/#i-5

結論から言うと、その場所にラインを引く理由と、投資家心理的なものは一切関係ありません。

というよりも、僕はチャートリーディングにおける相場・大衆心理的思考方というのは殆ど意識していません。

その理由は、チャートの動きに対して、客観的に可視化・定量化しようのない情報(大衆心理)を考察材料とするのは

自分の憶測(悪くすると妄想)を根拠にした分析になってしまい、客観性と一貫性が失われてしまうからです。

では、何故僕らがこのようなラインの引き方を採用しているのか？

これには大きく分けて 2つ の理由があります。

1つ目は、そのようなラインの引き方で一貫すると『自分で決めた』からです。

この、『自分で決める』という考え方は、これまでのメルマガでもテーマとして扱ったことがあります
が(【41】【127】メルマガ参照)

ラインの引き方を始め、テクニカルに沿ってトレードするというのは

基本的に不可測な相場で、自分の一貫性を保って行う意識が非常に重要になります。

つまり、「絶対的に正しい」ラインの引き方というのは存在せず

あくまで自分が『どんな基準』に沿ってラインを引くことにより、原則不規則な相場の中に

『自分なりの規則性』を見出してエントリーに繋げていくということなのです。

つづいて2つ目ですが、これはやや経験則的な見方とはなってしまうものの

過去、自分がひたすら環境認識のベースを作るために、過去の値動きの切り返しが起こっている
ポイントでの

ローソク足の組み合わせや、トレンドの推移をひたすら観察した結果

まとめた定義ラインの周辺でプライスアクションが起こっている傾向があると

『自分の目でみて確かめた』からです。

結局、チャートの中の値動きに「絶対こうなる」という基準が存在しない以上

自分が見て、認識できたパターンを根拠とするしかないのは『短期足のセットアップ』でも

『環境から目線を決める』ときも全て同じことです。

僕がしつこく 検証母数 と フォワードテスト の重要性を説明してるのも、この点が根底にあるからです。

「〇〇さんが言ってたからただしい」のではなく、自分の目と手で確かめたからこそ、その情報を『信頼する』というのが

トレードにおける根拠の正しい捉え方とも言えるわけですね。

ベースが無くては始まらないので、当然インプットも大事なのですが

その入れた情報を自ら経験を積むことで確かめる(≒アウトプット)の重要性も

しっかり脳裏に焼き付けておいて頂ければと思います。